

鬼崎ヨットクラブオーナー(代表者)各位

鬼崎ヨットクラブ 安全委員会

第25回 鬼崎ヨットクラブ安全訓練のご案内

OYC オーナー各位におかれましては、例年のイベントへのご協力有難うございます。

本年度も恒例行事でもあります OYC 安全訓練を9月11日(日)に予定していますので
ご参加頂きます様、宜しくお願い致します。

案内と致しまして“安全訓練計画書”を送付致しますので、各艇メンバーへのご一報、及び
ご周知の程、宜しくお願い致します。

■ 送付資料

安全訓練計画書 A4×3ページ (本紙含め全4ページ)

つきましては、以下の内容をご確認頂き、自艇の訓練項目の準備をお願い致します。

■ 当日の準備

- ＜持ち物＞ 本資料、筆記用具、無線設備が無い艇⇒(430MHz 帯ハンディアマチュア無線機)
- ＜訓練艇＞ 訓練が実施出来る様、法定備品等の事前確認
- ＜注意事項＞ 参加費は無料 (昼食は各艇で用意下さい)

例年、欠席や遅刻する艇が見受けられますが、
艇長会議(クラブハウス、8:30～)には、必ず各艇1名のご出席をお願い致します。

- 出艇不可の艇、当日、アマチュア無線設備を準備出来ない艇
上記艇は、速やかに下名宛へ連絡をお願い致します。

OYC安全委員長 川添 俊

電話:090-1299-5963 (平日 19:00～21:00)

E-Mail: 0xf3mg1x7853j4g@ezweb.ne.jp

必ず、※9月6日(火)までに、ご連絡ください。

■ その他注意事項

安全訓練は、OYC 公式行事です。出艇出来ない場合でも、最低1名は訓練に参加頂きます。

※艇長会議で確認出来なかった艇(会議欠席)は、日直当番のペナルティの対象となります。

第25回 鬼崎ヨットクラブ安全訓練計画書

鬼崎ヨットクラブ安全委員会

1. 実施日 平成 23 年9月 11 日(日)
2. 場所 鬼崎フィッシャリーナ東岸壁および鬼崎港沖
3. 内容

■3.1) 午前の部

- 8:30 会長の挨拶
OYC 各委員からの連絡事項 (クラブハウス)
安全訓練の艇長会議 (クラブハウス)
- 9:30 陸上訓練準備 (鬼崎フィッシャリーナ東岸壁テント敷設)
- 10:00 陸上訓練開始 (鬼崎フィッシャリーナ東岸壁)
- 11:30 陸上訓練終了

- ・ 陸上訓練概要
常滑消防署の指示に従い訓練実施、AEDを用いた心肺蘇生方法等

■3.2) 午後の部

- 13:00 海上訓練出艇 (鬼崎港沖訓練水域)
- 13:30 海上訓練開始
- 15:00 海上訓練終了
- 15:30 後片付け・解散

- ・ 海上訓練概要
鬼崎港沖約1Km 海上、本部艇の西側に円陣上の配置に着く 添付図参照
(全艇 OYC 旗を揚げ本部艇東側に航路を設け訓練スペースを作る)
参加各艇は、本部艇の指示に従って担当の訓練を行う。
本部艇は、アマチュア無線機を使用して指示を行う。
拡声器での連絡は、連絡艇から海上訓練実施中の艇への指示のみとする。

参加艇: 鬼崎ヨットクラブ所属全艇
常滑警察署 警備艇 “とこなめ愛2”
中部空港海上保安航空基地 “レスキュー艇(ゴムボート)”

本部艇: Caress2 (川添安全委員、竹村安全委員、海上保安委員、他2名)
連絡艇: YMCAレスキュー艇(鵜飼氏、小林氏、写真撮影を兼務)

海上訓練プログラム

1. 準備

全艇乗員は、ライフジャケット着用、アマチュア無線機を使用できる状態にする。

周波数 432.90MHz

2. 火災消火（CooCoo Smile、HIBISCUS-Ⅲ、らくだ、MY DREAM）

a)火災を模擬し、信号紅炎を点火し、消火器もしくはバケツで消火する。

3. 遭難信号（美州、スカイタイム、PERVERT-Ⅱ）

NC 旗を使用し、手旗、笛で知らせる。信号紅炎(使用期限切れ可)を使用する。

発煙浮信号、光せん、パラシュートフレアは、空港に伴う規制区域の為、使用厳禁

4. 落水者救助（波光、せいりょうパラダイス、ISE、零Ⅲ、ぐらんめーる）

a)落水者発生、直ちにライフリングを投下、反転して風下より近づいて救助する。

5. 応急操舵（バリハイ、SEA HORSE、はやぶさ、QUERIDA ZERO、南風見）

舵のトラブルが発生し、予備ラダー、応急ラダー、ねりがい等により航行する。

6. 乗換え曳航

a) 航行不能となり漂流する艇に、救助艇が近づき曳航する。

b) 航行不能となり漂流し、警備艇「なごや」に乗員を乗換え曳航される

救助艇	航行不能船
a) 風の如く	BROWN SUGAR
a) J.BLOW	Only You-2
b) なごや	白砂

7. 荒天帆走（QUERIDA、LUNA-5 世、アルバトロス、マイマイ）

ストームジブ及びリーフしたメインセールとし、乗員は、ライフジャケットに加えライフハーネスを着用。

8. 霧中航行（SATAⅢ、エスベランサⅣ、雲、シャチ二世、Zic Zac Ⅱ）

レーダーリフレクタを掲げフォグホーンを鳴らしながら微速前進する。バウで前方の監視を行う。

9. 巡視艇による模擬消火放水は、今回実施されません。

訓練海域の警戒に海保レスキュー艇(ゴムボート)が対応。

出港不可(9/4 現):フォルテ、志摩、ひねもす6、スカイタイム

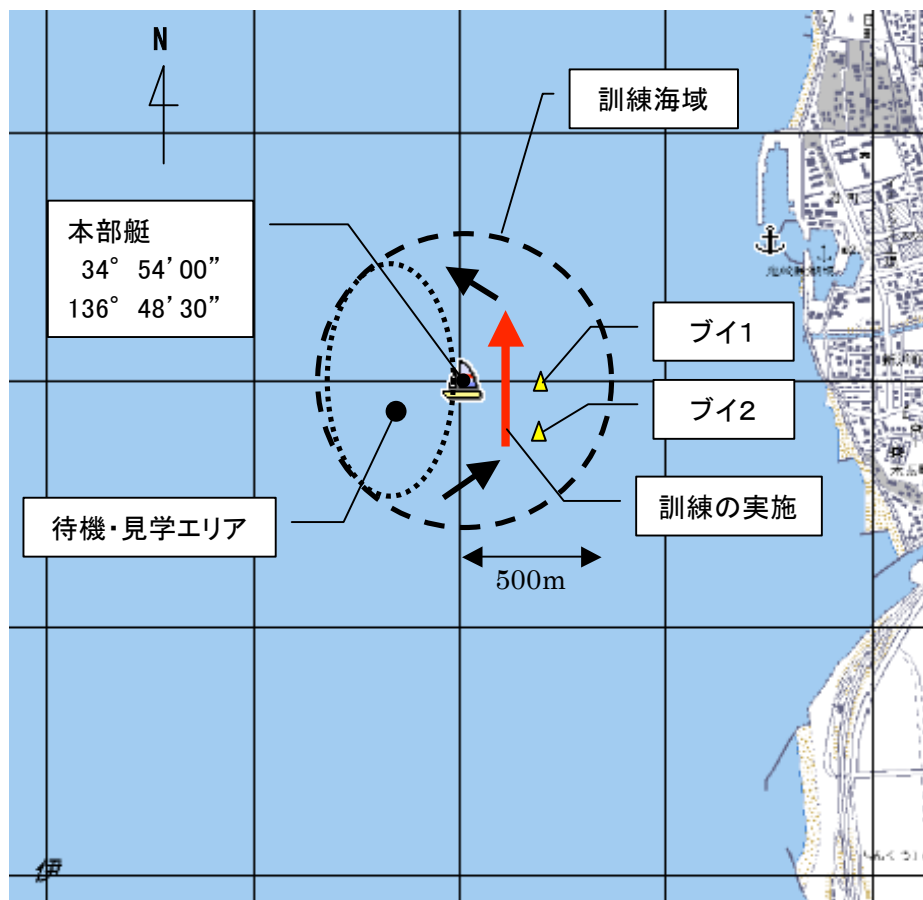
10. 連絡艇

連絡艇は Caress2 またはYMCAレスキュー艇が担当。本部艇の連絡サポート、訓練の写真撮影を担当する。

11. アマチュア無線通信訓練

本部艇から訓練艇各艇へ随時、無線で呼び出しを行う。各艇の応答状況をチェックし、交信することによってアマチュア無線の使用訓練とする。

海上訓練エリア



※ 状況により、訓練海域の変更あり

参考

・国際信号旗の意味

N		C		NC旗：私は遭難している。直ちに援助がほしい。
O				O旗：人が海中に落ちた。
A				A旗：潜水夫を降ろしている、微速で十分避けよ。
U		V		UV旗：ご安航を祈る。

・運転不自由船及び操縦性能制限船の措置

紅色全周燈二個を垂直線上 又は、黒球二個を垂直線上